

『スピード』と『徹底』 V字回復経営の教科書 その3

「企業カルチャーを変革する」

優れた会社に変えていくための“3要素”

(1) 「リーダーシップ」

① 社員を動かすため、自分の考えていることを伝える「訴える力」

② 白か黒か、右か左かを決める「決断力」

③ 絶対逃げないこと。「どんなに優秀でも逃げるやつはあかん」

リーダーとしての厳しさを持ちつつも、社員集団を「なびかせる」能力のある「求心力型」のマネジメントスタイルが求められる。

(2) 「業務革新のメソッド」

2面パレート図、訪問件数、フォローの重要性、コストダウンと利益創出等、トヨタの「方針管理手法」京セラの「アメーバ会計制度」がこれに相当する。

(3) 「企業カルチャー（意識改革）」

企業の構成員（社員集団）によって共有・伝承されている『価値観』『思考様式』『行動様式』の集合体である。

企業カルチャーを変革させると、今まで眠っていた企業が、どれほどとんでもない「化学反応」に近い連鎖的変化を組織の隅々にまで起こすものか、という事実を当事者の1人としてまざまざと実見させていただいた。

企業が自らを変えるということは、業務改革運動をいくらやっても得られないようなもの凄く変化を企業自身が起こすことである。まさに企業が目の前で「生まれ変わる」のだ。

意識改革とは、経営者が社員集団に共有・伝承されている古い価値観を、望ましい、新しい価値観、たとえば、今日私たちが最も必要とする価値観である『徹底』と『スピード』に変換させる作業である。

この望ましい価値観への「擦り込み」によって、強い思考様式、行動様式に進むものである。

P255～P267



今月のポイント

経営者の擦り込みによってのみ

価値観が変わる。